

## イモゾーフAMILYと振り返る 東海村60年のあゆみ

### 【主な出来事(昭和40～44年)】

昭和40年 (1965年)	5月	▽第一化学薬品株式会社東海研究所開所
	8月	○合併10周年記念村民謡踊り大会開催
	12月	▽東海地区放射線管理協議会発足 ○東海中学校新校舎完成
昭和41年 (1966年)	1月	▽財団法人日本原子力普及センター完成
	2月	▼東海村役場新庁舎完成
	3月	▼豊岡に衛生プラント完成
	7月	▽原電・東海発電所営業運転開始
	11月	▽住友原子力工業東海研究所開所 ○第1回村民体育祭開催
昭和42年 (1967年)	3月	▽原子力普及センターに原子力展示館完成
	5月	▼有線放送電話開通
	10月	▽動力炉・核燃料開発事業団東海事業所設立
昭和43年 (1968年)	11月	○16のスポーツ少年団結成
	5月	▼東海なかよし幼稚園前に「東海歩道橋」完成
昭和44年 (1969年)	7月	▼村内に豚コレラ発生 ▼村づくりについての村民意向調査実施 (36.5パーセントの方が住みよいと回答)
	2月	▼水戸対地射爆場返還推進協議会の現地抗議集会開催(根本村長による開会宣言)
	4月	○桃山保育所開所
	5月	▼子どもの遊び場8か所オープン
	6月	▼晴嵐荘に重症心身障害児病棟完成
	7月	▼ごみの収集開始 ▼移動地方県民室を東海村で開催
	8月	○照沼・白方・石神小学校の3校でプール開き
	10月	▽皇太子殿下(現・天皇陛下)ご来村 ▼役場ホールに住民相談室開設
	▼…暮らし ○…教育・文化 ▽…原子力	

役場新庁舎完成(昭和41年)



▼皇太子殿下(現・天皇陛下)ご来村(昭和44年)



◀動力炉・核燃料開発事業団(現・日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所)設立(昭和42年)

多くの原子力施設が建設される



原研道路村松周辺(昭和43年ごろ)



この景色、どこかで見たいかな…?



◀白方小学校通学路(昭和43年ごろ)



▶ごみの収集開始(昭和44年)

### あのころの…「広報とうかい」こんな記事(一部抜粋)

#### ■今年楽しい夏休み 七月下旬に三校完成

(第139号/昭和44年3月28日発行)

水難防止に役立つスポーツの発展と体位向上に寄与する学校プールの建設が、照沼、白方、石神三校一斉にはじまりました。完成は7月25日の予定です。これで村内1,700名の小学児童にとって、今年の夏は安心して泳ぐことが出来るので、さぞ楽しい夏休みとなることでしょう。…県内の小、中学校におけるプール建設の普及率は、今年度の予定校分(55校)を加えてやつと20%程度です。このように学校プールの建設が進まないのは、建設費が約1,000万円かかるのと、国庫補助金がわずか97万円に過ぎないため、市町村の財政負担が容易でないからです。…(村内の)普

及率は60%となり、県内の普及率の3倍になるわけです。

#### ■目立つ体位の伸び 新入学児の健康診断

(第124号/昭和43年3月10日発行)

新学期も間近かに迫り、新入学児の健康診断が…行なわれました。ことし、村内の各小学校へ入学するこどもたちは、284人で、平均身長は112.4センチ、体重は19.1キロと、年々体位は伸びています。また面接、テストの結果も大半のこどもたちが幼稚園教育を受けているだけに、面接担当教師との応答もテキパキと明確に答え、テストで自分の名前や数字の書けないこどもはいませんでした。